

## ウォールストリートホールド使用上の注意

ウォールストリートホールドは室内人工壁クライミング専用で設計されています。室内人工壁の利用法、危険性などについて十分な知識を持った上で使用してください。室内人工壁クライミング以外の目的で使用しないで下さい。

- \* ホールドは不意に回転したり破損する事があります。十分な注意を持って使用してください。
- \* 取り付けの際、ボルト、ビスを締めすぎると割れる事があります。
- \* 取り付け場所が平面でない場合、割れる事があります。
- \* 高い所から落とすと割れる事があります。
- \* ホールドの縁は鋭くなっていますので取り扱いの際は注意してください。
- \* 屋外に取り付けると材質の劣化、退色などが早まりますので、室内でのみ使用してください。
- \* ホールドの加工、着色などはしないでください。
- \* 洗剤、有機溶剤等を使って洗浄しないで下さい。洗浄する場合は水またはぬるま湯で洗い、陰干しで完全に乾燥させてください。
- \* 経年変化により破損、亀裂、などが起こる事があります。そのような場合はただちに使用をやめ、破棄してください。
- \* 指の裂傷、腱、筋肉、骨などの障害を起こしやすい形のホールドもあります。十分に注意して使用してください。

## ホールドの取り付け方

ウォールストリートホールドはタイプにより3種類のボルト、ビスを使います。

ボルト、ビスの長さは、取り付けるボードの裏側よりボルト、ビスの先端が出るものを選んでください。

(\* ウォールストリートホールドにはボルト、ビスは付属していません)

穴の底が平らになっている



### ボルトオンタイプ

ボルト穴が上図のような形の場合、  
10mmのキャップボルト

穴の底が皿状になっている



### ボルトオンタイプ

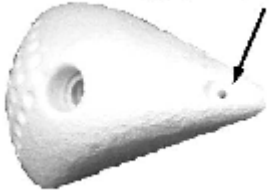
ボルト穴が上図のような形の場合、  
10mmの皿頭ボルト



### スクリーオンタイプ

直径4mmほどの小さな穴のみ空いている型の場合、すべての穴を使って木ねじ、コーススレッド等で固定してください。

周り止めの穴



周り止めの穴(ボルト穴以外に空いている小さい方の穴)は木ねじ、コーススレッド等を使って固定してください。(必ず固定してください)